

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月16日

協議会名: 沖縄県離島航空路確保維持協議会

評価対象事業名: 琉球エアークommューター(株)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
琉球エアークommューター(株)	宮古-多良間線 島民の生活路線として1日2往復運航	<p><県の取組> 1. 離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続し、離島住民や交流人口の利用促進を図った。</p> <p><RACの取組> 2. JALダイナミックパッケージでの多良間島を含めたアイランドホッピングが可能な周遊旅行の設定・展開による需要開拓を実施。</p> <p>3. 旅行系インフルエンサーとタイアップしたSNSでの多良間島への旅行プロモーションを実施。</p> <p>4. 多良間島を含めた沖縄離島周遊需要喚起を目的としたデジタルスタンプラリーキャンペーンを実施。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染症の影響により、旅客輸送量は目標の45,023人に対して44,885人となる見込みであり、目標を達成できない見込み。	<p><県の取組> 1. 引き続き、利用者の確保を図るため、離島住民等交通コスト負担軽減事業を継続する。</p> <p><RACの取組> 2. 本州-那覇-沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、多良間島を含めた沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、旅行会社や多良間村(観光協会)と連携し、魅力ある旅行商品の造成等を図る。</p> <p>3. JALグループの各種媒体を活用して沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図る。</p> <p>4. 各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図る。</p> <p>5. 機体および部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費抑制を図る。</p>